

「#（ハッシュタグ）」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。

～みどりの食料システム戦略勉強会～

#有機農業を持続可能な農業にしていくために



「みどりの食料システム戦略」では、2050年までに耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大することを目指していますが、有機栽培は慣行栽培に比べ手間がかかるなど、有機栽培ならではの課題があるのが現状です。

大分県拠点では、令和7年12月24日、J:COMホルトホール大分において、「持続可能な有機農業を学ぶ勉強会」を開催しました。

農研機構で有機農業の研究に携わる三浦氏から、「有機栽培技術のポイント」と題し、除草管理や緑肥の活用を中心とした講話を、また、有限会社宇佐本百姓の深見氏から、スマート農機等を活用した有機農業の取組事例についてご紹介いただきました。

当日は、生産者や行政職員など約30名が参加し、自身の営農にどう活かせるのか、具体的な質問も多く寄せられ、活発な質疑応答が行われました。本勉強会を通じて、有機農業の実践に向けた理解が一層深まる機会となりました。



■ 講師：三浦 重典 氏

（農研機構 本部 兼 九州沖縄農業研究センター研究推進部 みどり戦略・スマート農業コーディネーター）



■ 事例発表：深見 寿孝 氏

（（有）宇佐本百姓 取締役）

☆詳しくはこちら(大分県拠点HP)



#令和8年度予算概算決定額は総額2兆2,956億円

新たな食料・農業・農村基本計画を踏まえ、農業構造転換集中対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、農業の持続的な発展、農村の振興、環境と調和のとれた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の持続可能な成長の実現を推進します。

☆詳しくはこちら(農林水産省HP)



農林水産省

農林水産祭、ノウフク・アワード 受賞しました！



👑 令和7年度（第64回）農林水産祭

👑 ノウフク・アワード2025

【天皇杯（水産部門）】

「浪井丸天水産」

代表 浪井 大喜 氏（佐伯市）



【準グランプリ（人を耕す部門）】

社会福祉法人「新友会ひまわり畑」

施設長 羽矢 一弘 氏（大分市）



【内閣総理大臣賞（畜産部門）】

（有）荻町高原総合農場

代表 工藤 厚憲 氏（竹田市）



詳しくはこちら
をご覧ください

☆令和7年度農林水産祭（農水省HP）



☆ノウフク・アワード2025（農水省HP）



令和6年農業産出額が公表されました

令和7年12月23日に「令和6年農業産出額及び生産農業所得（九州）」が公表されました。

大分県では、畜産が前年に比べ12 億円（2.4%）減少し、加工農産物が前年に比べ3 億円（37.5%）減少したものの、耕種が前年に比べ169 億円（20.1%）増加したことから、農業産出額合計では、前年に比べ156 億円（11.6%）増加し、1,498 億円となりました。

耕種では、主に米や野菜の産出額が増加。これは、米については、主食用米を中心に価格が上昇したこと、野菜については、ねぎ、トマト等の価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられます。

畜産では、肉用牛、鶏の産出額が減少。これは、肉用牛については、子牛の出生頭数の減少及び価格が低下したこと、鶏については、鳥インフルエンザの影響により減少した鶏卵、ブロイラーの生産量が回復し、価格が低下したこと等が影響したものと考えられます。



☆令和6年農業産出額及び生産農業所得（九州）
（九州農政局HP）



【大分県】

品 目	産 出 額	構成割合
	億円	%
農業産出額	1,498	100.0
米	316	21.1
肉用牛	141	9.4
豚	136	9.1
ねぎ	110	7.3
生乳	87	5.8
鶏卵	49	3.3
ブロイラー	47	3.1
トマト	43	2.9
いちご	35	2.3
みかん	33	2.2
ぶどう	32	2.1
日本なし	27	1.8
ピーマン	26	1.7
かんしょ	24	1.6
カボス	24	1.6
にら	18	1.2
しそ	18	1.2
はくさい	17	1.1
キャベツ	14	0.9
きく（切り花）	13	0.9

農業者等との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

～鬼が福を運ぶ里でのアボカド栽培～

鬼印農園（豊後高田市）
令和7年12月2日



豊後高田市でアボカドや柑橘を栽培する鬼印農園と意見交換を行いました。農園のある大分県国東半島は、「鬼が仏になった里」として日本遺産に登録されており、農園の名前の由来となっています。

当園では柑橘やアボカドのほか純国産鶏「もみじ」を平飼いで飼育しています。農薬や化学肥料を使わない自然栽培を実践されており、果樹栽培でみどり認定を取得しており、豊後高田市の独自認証制度「夢叶野菜（ゆめかなやさい）」にも登録されています。

アボカドは9～11月が収穫シーズンで、インターネットで販売しています。今年の分は終了しましたが、大分県産のアボカドが気になる

方はHPをチェックしてください。



☆その他の意見交換
（大分県拠点HP）



大分県拠点へお気軽にご相談ください！

九州農政局大分県拠点
地方参事官室

〒870-0047 大分市中島西1-2-28

TEL 097-532-6131（代表） FAX 097-532-6281

URL <https://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/index.html>

